



## ～緊急院内集会のお知らせ～ ちょっと待って！少年法「改正」

2014年2月7日に上程された少年法「改正」法案は、少年法の理念を根本から覆す重大な問題を含んでいます（裏面参照）。

私たちは、いま一度、この法案の危険性を訴え、法案をこのまま成立させてはならないことを御理解いただくべく、緊急に院内集会を開催します。

是非ご参加いただき、子どもの権利保障のためにお力をお貸しく  
ださい！！

日時：2月18日（火）午前11時30分から午後1時

場所：参議院議員会館 102 会議室（地下鉄永田町駅3分、国会議事堂前駅7分）

内容：検察官関与・厳罰化のたどる道

～この法案が成立したら子どもたちはどうなるか？～

○法案解説

○片山徒有さんのお話（被害者と司法を考える会代表）

○参加議員からのご発言

○各団体からのアピール

主催：少年法「改正」に反対する弁護士・研究者有志の会

共催：被害者と司法を考える会

子どもと法・21

青年法律家協会

主催者問合せ先

TEL：03（5347）9060 角南法律事務所

Email：[syounenhouyuushinokai@gmail.com](mailto:syounenhouyuushinokai@gmail.com)

有志の会ブログ=<http://yuushinokai.hatenablog.com/>

# ちょっと待って！少年法「改正」

私たちは、検察官関与拡大なき国選付添人制度の拡大と、少年刑の厳罰化の削除を求めています。

## Q 今回の少年法「改正」案、どんな内容なの？

### ①国選付添人制度の拡大

これまで、少年審判に、国費で弁護士付添人が選任される事件は、重大な犯罪に限られていました。

今回の改正では、それを、窃盗や傷害などの刑罰の上限が長期3年以上の懲役・禁固の罪まで拡大します。

### ②検察官関与制度の拡大

これまでも、重大な事件で、非行事実の認定に必要な場合には、少年審判に検察官の立ち合いを認める制度がありました。

しかし、今回の改正では、検察官が関与できる事件の範囲も、①と同範囲まで拡大する、としています。

### ③有期刑の引き上げ

少年法は、子どもの犯した罪が刑事裁判で裁かれる場合でも、おとなよりも刑を減軽することを定めています。そして、おとなの場合、無期刑に相当する罪は15年、有期刑に相当する罪でも、最長10年の刑にしています。

今回の「改正」案は、これをそれぞれ5年引き上げる、としています。

## Q 何が問題なの？

## A 少年審判の刑事裁判化・少年の厳罰化を推し進めるものです。

### 問題1 少年法の理念に反する検察官関与

少年法は、非行を子どもが育つ過程での課題と捉えて、子どもとの「対話」を通じて子どもの反省と成長を促すことを目指し、「審問構造」を採用しています。

なぜならば、検察官は、犯罪の訴追と処罰を使命とする存在であり、捜査段階で取り調べを担当した検察官が審判廷にいても、子どもが自由に自分の思いを語ることは困難になり、少年法の理念を守ることはできないからです。

しかも、この改正案が通ると、新たに、窃盗、傷害、詐欺、恐喝、強制わいせつなどの罪名にまで、国選付添人制度と検察官関与の対象事件が拡大されます。これは、少年の身体拘束事件、すなわち鑑別所に送致されている事件の約80%に当たります。

また、いじめに関連した窃盗や傷害などの事件も、検察官関与の対象となります。

### 問題2 冤罪の危険性

少年審判は、処罰の場ではありません。そのた

めに、おとなの刑事裁判と違って、捜査機関が裁判所に提出する証拠を、事前に付添人側がチェックするなどの厳格な証拠法則がありません。

このことは、少年審判で、少年が無実を訴えようとする場合には、現状でも、既に、おとなよりも不利なルールで戦わなければならないということなのです。このような少年審判に、さらに検察官が関与したら一体どうなるのでしょうか？

### 問題3 立法事実のない検察官関与拡大

最高裁も、検察官関与の対象事件を拡大しなければならないような状況はないと国会で答弁しています。(第180回国会・参議院法務委員会、参照)

### 問題4 子どもの人生よりも長い刑期

子ども(つまり20歳未満)たちに課せられる刑の上限が20年ということになれば、子どもたちは、自分たちが生きてきた時間よりも長い時間を、教育の保障も不十分な刑務所で過ごすこととなります。そのような子どもたちが、社会に出たとしても、社会の中で自立して、やり直すことは極めて困難です。

**2014年は、子どもの権利条約批准20周年です。**

**この改正案は、国連・子どもの権利委員会の勧告とまったく逆の内容です。**

**今こそ、子どもの育ちを守る法案を！**